

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2023/6/1
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	株式会社ワイズマン
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1983年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		40年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	岩手県盛岡市盛岡駅西通2丁目11番1号(〒020-0045)
	事業所数(国内、国外)		国内:14、国外:なし		
	主な事業所の所在地		東京都(1ヶ所)、大阪府(1ヶ所)、岐阜県(1ヶ所)、福岡県(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	事業領域を福祉分野と医療分野に特化し、全国の保健・医療・福祉の各施設業務をサポートする業務用ソフトウェアの企画・開発から販売・サポートまでを一貫した事業として展開している。
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	南館 聡一郎
			代表者写真	選択	
			代表者年齢		-
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		-
7	役員	役員数	6	選択	南館 聡一郎(代表取締役社長)、南館 伸和(取締役顧問)、湯澤 一美(取締役会長)、鳴坂 仁志(取締役副社長)、杉野 雅一(取締役)、餘目 司(監査役)
		役員氏名及び役職名			
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	-
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	¥12,100,763,169(2022年6月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	¥1,825,928,041(2022年6月期)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	¥100,000,000(2022年6月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	-
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	-
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	-

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	非上場
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	-
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	-
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	株式会社リコー、キャノンマーケティングジャパン株式会社
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	北日本銀行
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	東北ニュービジネス協議会
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	杉野雅一(取締役 管理本部長)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	総務課 会議体: 無し
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	・情報セキュリティ基本方針 ・情報セキュリティ規程
			上記の書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	選択	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの書類名	必須	クレーム対応ガイドライン サポート業務問合せ対応マニュアル
			上記の書類の経営陣による承認の有無		無し
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	ワイズマンASPサービス
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2005/8/22
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有り:2010年11月
29		サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・特徴 申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	<p>「ワイズマンASPサービス」とは、インターネットを通じて、介護保険・障がい福祉サービス事業者を対象とした業務用アプリケーションソフトの利用を提供するサービス及び本サービスを正常に利用できるように提供する保守サービスの総称をいいます。アプリケーションソフトはセキュリティ万全のIDCに導入されております。</p> <p>その特徴として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスの煩わしさを解消します</li> <li>・計画的なコスト管理ができます</li> <li>・トラブル対応が迅速です</li> <li>・システム運用がスムーズです</li> </ul>
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲 (契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	無し 法改正の対応及び障害対応、機能追加等に関しては当社の判断により実施。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	2ヶ月前
		告知方法		当社指定の方法により通知
33	サービスの変更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		有り: ワイズマンASPサービス利用約款に記載 (ユーザがデータ返却を希望しない場合には、当社にて廃棄し廃棄証明書を発行)
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り: 担当営業拠点及びサポートセンター 受付時間: 月曜日から金曜日(除く: 祝日、夏季/年末/年始休暇) 9:30-17:30
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無し
		固定部分の課金方法		アプリケーションサービス種類ごとの月額利用料金
36	サービス料金	初期費用額	必須	操作説明及び設定作業等の役務費有り (サービス利用のためのお客様の機器、インターネット回線等費用は含まず)
		月額利用額		お客様のご要望に合わせた個別見積もりとなります。
		最低利用契約期間		1年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り: 12ヶ月に満たない場合は、12ヶ月分の利用料金から、既に契約者が支払った料金を除いた残額
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 2週間前

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	サービス稼働率実績値(年間の平均稼働率実績値) 2022年度 : 100.00%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		サービス種別のパターン番号 : 1 稼働率の対象参照値 : 99.5%以上
		サービス停止の事故歴		お客様向け専用サイトでの情報公開
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	Pマーク取得 認定番号: 14700039(09)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	データ及び書類等預り書に使用目的を明示の上、確認いただいている
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	IDC内で差分バックアップを毎日、フルバックアップを週単位で実施
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	4世代での管理を実施。
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSIに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2007/2008」 ASP・SaaS部門 ノミネート賞受賞 「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009」 ASP・SaaS部門 ベストブレイク賞受賞 「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010」 ASP・SaaS部門 ベスト公共部門賞受賞 「ASP・SaaS・クラウドアワード2011」 ASP・SaaS部門 社会・業界特化系グランプリ受賞
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	SLA有り
49	サービス利用量	利用者数	選択	2023年度4月末時点13044契約(実ユーザ数)
50	サービス利用量	代理店数	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	在宅ケアマネジメント支援システムSP
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	ケアマネージャーの煩雑な業務を広範囲にサポートします。給付管理・介護給付費請求・総括表の作成など、請求にかかわる作業の効率化を図ります。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社ワイズマン(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	有り: 監視インターバル: 機器(5分)、ソフトウェア・プロセス(1分) 監視時間: 1(実監視時間/サービス提供時間 = 1) 通知時間: 機器: 約5分14秒(リトライによる誤検知防止のため)、ソフトウェア・プロセス: 1分
			障害時の利用者への通知時間		
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り メールの受信機能無し。サーバ上でのウイルスチェックにて対応。 (1回/日 パターンファイル更新)
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	ログ取得: 有り 保存期間: 3ヶ月以上保存
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	AP動作確認の都合上、緊急性の高いものについてのみ、適宜更新
- ネットワーク					
60	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	光回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	必須100Mbps以上、推奨1Gbps以上
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	推奨端末: パソコン OS: Windows10 Pro、Windows10 Home、Windows11 Pro、Windows11 Home
			利用するブラウザの種類	必須	WindowsEdge
63		ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
65	セキュリティ	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	認証デバイス方式
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り: USBキーによるユーザ認証 ワンタイムパスワード方式
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	データの暗号化処理(XenAppによる暗号化機能)及びSSL通信による二重の暗号化処理
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	データセンター専用
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須	日本: 関東地域
73		耐震・免震構造	耐震数値		必須
	免震構造や制震構造の有無				
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	UPS有(並列冗長方式) 電力供給時間:10分
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	同一変電所より本線/予備線の特別高圧受電
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	有り: 72時間連続稼働
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	自動消火設備有 (窒素ガス消火設備)
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	有り
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	有り 特高アレスター(84kV,10kA)
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	冗長化冷却設備 中央熱源冷却方式 インバーターボ冷凍機フリークーリングの採用 熱気流シミュレーションによる最適化設計・制御

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有り: 1年間
				有り: 24時間365日稼働 無死角監視 一年分保管
				有り: 非接触ICカード+指静脈認証
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
		保管管理手順書の有無		有り
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	・監視カメラ・赤外線センサーによる監視 ・各サーバールームに全室があり、サークルゲートで共連れを防止 ・7段階のセキュリティレベルがあり、入館者に応じて権限を付与 ・ラックは個別でカギを管理
- サービスサポート				
85	サービス窓口(苦情受付)	連絡先	必須○	当社の連絡先: 電話/FAX: 019-604-0750/019-604-0770 Web: <a href="https://www.wiseman.co.jp/">https://www.wiseman.co.jp/</a>
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月曜日から金曜日(除く: 祝日、夏季/年末/年始休暇) 9:00-18:00
		メンテナンス実施時間		毎月、第3週および第4週のそれぞれ1日 第3週メンテナンス日: 月曜日から日曜日のうちいずれか1日の、20時から翌朝8時まで停止(12時間) ※2011年11月からのワイズマンシステムSPのお客様は、20時から翌朝5時まで停止(9時間) 第4週メンテナンス日: 土、日曜日のうちいずれか1日の、20時から翌朝8時まで停止(12時間)  但し、都合により時間帯を変更する場合があります
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	
		放棄率の実績値(単位: %)		
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法 ・障害時トラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、FAX、通信サポート、お客様向け専用サイト
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	インターネット回線、ネットワーク機器、サーバー機器等全てにおいて冗長化構成で設計・構築しております。
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: ワイズマンASPサービス利用約款

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

## ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0011-0807, サービス名称: ワイズマンASPサービス, 事業者名称: 株式会社ワイズマン

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1ヶ月前に予告(確定は1週間前)
		告知方法		お客様向け専用サイト、サービスメニュー掲示板
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。